

# 災害時の安全対策をしましょう



## ① 日頃から災害に備えて準備をしましょう!

様々な災害を想定して、事前準備をしましょう。  
夜に災害が起こった場合を想定して、  
枕元に靴や懐中電灯があると、  
より一層安心できます。



### ●事前準備リスト (例)

- ・食料、飲料の備蓄
- ・非常用持ち出しバッグの準備
- ・モバイルバッテリーの充電
- ・家具の置き方
- ・避難場所や経路の確認
- ・家族間の安否確認の手段



## ② 避難する前にはブレーカーを切ろう!

地震が起こると火事の危険性が増します。  
電気の消し忘れや停電の復旧後を防ぐために、  
家を離れるときはブレーカーを切ってください。

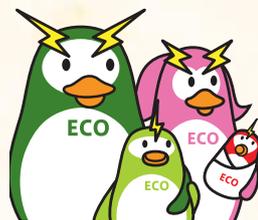
地震が起こったら可能な限り、使用している電化製品  
のスイッチを切り、コンセントを抜きましょう。

➔感震ブレーカーの設置が非常に有効です。



## ③ 切れた電線には絶対触らないで!

電線に樹木や看板、アンテナなどが接触して  
いる場合も大変危険です。  
最寄りの電力会社に連絡してください。



どうして  
ブレーカーを  
切る必要が  
あるんだろう?

# 通電火災ってご存知ですか?

通電火災とは、大規模な地震などを伴う停電が復旧する際に発生する火災のことです。災害により損傷を受けた家屋内の電気配線、破損した電化製品、ストーブやアイロンといった発熱体を伴う電化製品にモノが接触している状態等により、停電から電気が復旧した際に発火することなどが原因となる火災のことです。

- (例) ●地震の揺れでカーテンや衣類が電気ストーブの上に覆いかぶさり、通電後に**出火!**  
●建物の倒壊や家具の転倒で電気コードが損傷し、通電の瞬間にショートを起こし**出火!**



これらの可能性を減らすには感震装置(感震ブレーカー)による対策が非常に有効とされています。自治体によっては取り付けの支援として、助成金などが設定されている場合があります。是非調べてみましょう!

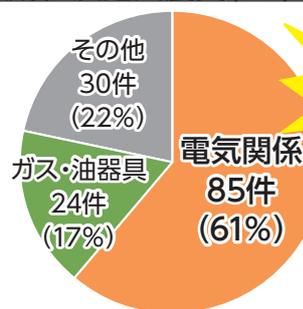


感震ブレーカーは ①分電盤タイプ ②コンセントタイプ ③簡易タイプ と種類があるよ。  
次のページで、分電盤タイプの感震ブレーカーについて詳しく紹介をするよ!

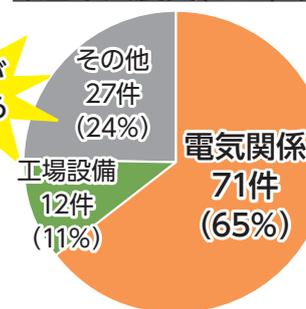
## 大規模地震時における火災の発生状況

地震による火災の過半数は電気が原因です。  
地震を原因として発生した火災のうち  
阪神淡路大震災では発生した火災の61%、  
東日本大震災で発生した火災の65%が、  
「**電気による火災**」でした。  
どちらも6割以上が電気による火災です。

阪神・淡路大震災(H7年1月)



東日本大震災(H23年3月)



6割以上が  
電気による  
火災!

※出火原因が確認されたもの 「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」報告書より